

## ◆ 第11回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 2019年2月26日(火) 19:00~20:50  
場所 竜神交流館 大会議室  
出席者 委員 : 18名(欠席2名)  
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、西村主査  
オブザーバー: 桜井市議、杉本市議、今吉竜神交流館長、  
地域保健課 加藤担当長

---

- 次第
- 1 会長あいさつ
  - 2 連絡事項
    - (1) 竜神地域会議の予定
    - (2) 2019年度わくわく事業審査会について
  - 4 協議事項
    - (1) 2018年度わくわく事業実績発表会について
    - (2) 2020年度地域予算提案事業について
  - 5 その他
    - (1) 竜神健康づくり計画リーフレット
    - (2) わくわく事業交流会・WE LOVE とよたフェスタ チラシ
    - (3) おいでん・さんそんSHOW2月号

### ■議事(要約)

#### 1 会長あいさつ<省略>

#### 2 連絡事項

##### (1) 竜神地域会議の予定

###### 連絡等

10月の定例会について第4火曜日(10月22日)が天皇の即位礼正殿の儀により祝日になるため、第5火曜日(10月29日)に変更する。

##### (2) 2019年度わくわく事業審査会について

###### 連絡等

3月3日(日)午後1:30に開始するわくわく事業審査会のタイムスケジュール等について説明。第10回定例会で配布した「団体の申請書類の写し」と「評価シート」を持参するように依頼。また、元気むつみ会の申請書の差替え(変更点:保険料を追加で予算計上)を依頼。

### 3 協議事項

#### (1) 2018年度わくわく事業実績発表会について

##### 決定事項

発表会についてお手伝いいただく委員を下記の通り依頼。

【前日準備】近藤委員、岡本(廣)委員、田中委員、加納委員、小杉委員(軽トラック)

【当日】受付：鈴木(八)委員、杉浦委員 軽トラック：小杉委員

#### (2) 2020年度地域予算提案事業について

##### 決定事項

投票により、新規事業案件として「防災・減災」「公園・子どもの場づくり」について検討を継続することを決定。今後は「防災・減災」「公園・子ども達の場づくり」に継続事業「健康」を加えた3つの課題について、分科会に分かれ、協議・検討を行う。各分科会員及び次回スケジュールは下記の通り。

【防災・減災】岡本(勝)委員、小杉委員、鈴木(八)委員、太田委員、田中委員、伊藤委員、早川(欽)委員  
＜次回＞第12回定例会内で協議。

【公園・子どもの場づくり】杉浦委員、加納委員、長尾委員、近藤委員、西先委員、北川委員、  
＜次回＞3月26日(火)午後6:00～、  
竜神交流館2階 21会議室  
※第12回定例会の前に協議

【健康】岡本(廣)委員、川村委員、早川(茂)、三浦委員、鈴木(堅)委員、兵藤委員、  
＜次回＞3月12日(火)午後1:30～  
竜神交流館1階 12会議室

##### 協議等

＜委員＞ 上郷地域会議では避難所運営マニュアルを作っているが、土橋小学校に聞いたら、災害時に避難所として使える場所は体育館だけだと言われた。避難所運営ゲーム(HUG)等のシミュレーションゲームがあるが、そもそも職員室や保健室などの色々な部屋が使えないとできない。また、豊田市の職員は連絡員であり、避難所は実際に避難してきた人達で運営されるので、そこに自治区の役割はなく、地域の支援は必要ないと感じた。そのため、土橋自治区では一時避難所を中心に避難訓練などを行っている。上郷地域は学校を使ってマニュアル作成や訓練を行っているということだが、学校の色々な施設が使えるようになったということか。

- <事務局> 昨年、自治区に避難所運営マニュアルが配布された。その中に初期は市の職員が受付等の避難所の開設を行い、その後は地域で運営することになっている。上郷地域や崇化館地域では避難所運営マニュアルの地域版を作っている。それらのマニュアルを見ると、学校が始まった際に授業で使う部屋等を除いた部屋を活用する形になっている。
- <委員> 被災するとガスや水道、電気等が回復するのに2週間ぐらいかかり、それまでは授業再開も難しいと予想する。そのような想定の中で、小学校に避難所で使用できる部屋や物を確認すると、職員室は使えない、職員室の中のコピー機やパソコンも使えない、防災無線は市の職員が使うから地域住民は使えないなどと、ほとんど使えるものがなくて何もできないように感じた。
- <委員> 地域や学校が災害時に避難所を運営できるとは思えない状態にあることが地域課題であり、地域会議の中でどういうことができるかテーマアップし、調査等を行う価値はある。
- <事務局> 他の地域では体育館以外の部屋の使用を想定したマニュアルができています。学校等と協議できる内容だと思う。
- <委員> また他に、地域の消防団員が少ないという課題がある。イベントをやって消防団への勧誘を行うことも対策の一つだと思う。
- <委員> 消防団は消防本部からの指示のもと動くため、自治区と一緒に行動できないと聞いた。
- <市議> 今後は地域と連携をできるかたちになると聞いている。区長とのラインも残している。
- <委員> ここでの協議だけでも問題は深いと感じる。大変な問題だが、実際に災害が起きたら避難所には人が集まる。やる、やらないではなく、やらなければならない。市の職員が連絡係であるならば、私たち地域が避難所を運営するためにどうしたら良いかということを考えなければならない。
- <委員> 地域予算ではできないことがある。例えば災害の時は電気が大切だと思うが、多くの電気を作ることができ、電圧が安定した高性能の発電機は防災の補助金では自治区負担が多すぎて購入することができない。しかし、地域予算でも防災の補助金があるため購入できないと言われた。そうすると、何もできない。
- <委員> 全てを一度には難しい。何が重要かを考え、優先順位をつけて順番に行う必要がある。今、自分たちでやれることを考えるべき。
- <委員> グループワークの中で避難所運営マニュアルを見せてもらった。家でも探してみたが、全戸配布された防災ガイドブックしかなかった。地域にそういう情報がない。マニュアル等は実際にどういうものがあって、どのように活用できるのか、防災の備品の一覧等の情報提供をしてほしい。
- <委員> 自治区の担い手づくりは、永遠の課題で苦労されていると思う。自治区の役員やOB等が考え決めていくことで、私たちが口を出すことはできない。もしかしたら、子ども会などの各種団体については対策を検討できるかもしれない。豊田市のいいところは、各地域に区長がいて、組長がいて、各団体がいてとい

う地域組織があることがすごいと感じている。地域力がある。そこに対し何かしら支援をすることは大切かもしれない。

＜事務局＞ 地域予算で取り組むべき課題について優先順位の投票を行う。配布用紙に取り組むべき課題だと思ふ順に1～3を記入していただきたい。その後、優先順位1位と2位の課題に継続事業「健康」を加えた3つのテーマについて分科会に分かれ、今後の検討スケジュール等について調整していただきたい。

**投票結果** 1位 防災・減災 56点  
2位 公園・子どもの場づくり 35点  
3位 自治区の担い手づくり 20点

#### 4 その他

##### (1) 竜神健康づくり計画リーフレット

地域予算提案事業で作成した「竜神健康づくり計画」リーフレットを配布

##### (2) わくわく事業交流会・WE LOVEとよたフェスタのチラシ

##### (3) おいでん・さんそんSHOW2月号

**【次回の予定】** 第12回定例会 3月26日(火)午後7:00～ 竜神交流館大会議室

＜内容＞・2019年度わくわく事業の2次審査について  
・2020年度地域予算提案事業について分科会協議  
・退任委員のあいさつ 等